



如松根之石

古より伝へ

海客の

歌

今

此部

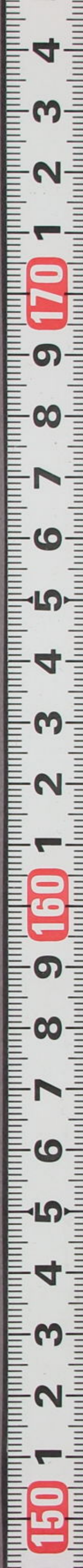


雀

柏亭

生面

笑山



四季花鳥風月三句合

臨泉亭評

○五點之部

春山丸水
 了處水
 笑木昔
 志相窓
 木志窓
 香眠

秀逸六印

松山下 熊のあそび 秋のころを
 斧の刃とくくして 魚ささく
 うぐいすのまは流きまきまき川
 後にも 鱈ハ 飛ちあー 煮子む
 於く 舟の向ひ合せや 芥末丸
 時めくや 花の日風の初魚為
 うぐいすも人も ちんちんあま
 能 昔も 今も ちんちんあま
 ちんちんあま 人のままなる 彼が
 風 薫る 工 風 薫る 大 工 風
 を 抽 つ む ちんちんあま 利 子 利 子 利 子

テ、
 柳 宜 酉
 榮 柳 宜 酉
 尾 榮 柳 宜 酉
 猿 尾 榮 柳 宜 酉
 一 猿 尾 榮 柳 宜 酉
 柿 一 猿 尾 榮 柳 宜 酉

後 風 子 まき ー 星 の 影 や う も の ち
 葉 と ちんちんあま や 小 虫 の 羽 と ー ー
 三 月 の 熊 子 ちんちんあま 入 ー ー
 一 八 月 橋 下 の 出 口 遠 入 ー ー
 逆 せ る 魚 の 子 さ よ ー ー 魚 の ち
 ちんちんあま の 木 の 影 ちんちんあま の ち
 溜 の ちんちんあま ー 子 ちんちんあま
 子 ちんちんあま ー 逆 せ る 柳 の 影 ちんちんあま

カタスレ
 馬 牛 伯
 志 了 ー ー
 立 我 泉 政 思

全七印

人 の ちんちんあま ー 益 ちんちんあま ー 山 橋
 ちんちんあま ー ちんちんあま の 月 の 影 無
 足 橋 下 ちんちんあま ちんちんあま 後 ちんちんあま
 ちんちんあま ー ちんちんあま の 影 無
 涼 風 の ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま
 鬼 百 合 の ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま
 春 の 端 ー ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま
 秋 ちんちんあま ー ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま

ヲハナレ
 レキミレ
 カナスレ
 了 馬 雨 笑 笑 松 宜 龜
 我 泉 中 風 交 美 稻 壽

素雲堂評

位五點之部

お ー ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま
 人 の ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま
 葉 ちんちんあま ー 影 の ちんちんあま

陽 海 網
 年 春

川流くア野か子あの運ゆる
 得ありのめうのまき子規
 おりい半しちりく
 不二夫と扇拾名やちの月
 干てある鹿か一と松のた
 お草アあの子居く奥琴細

まき
 子規
 月
 松
 奥琴細

秀逸六印

か子規のちく好な夜ア梅りわ
 木のあうのつる暦アうめのも
 杉らや然子のゆと秋のこり
 ありさくわくゆい白月の
 疾風やせくやけの青鏡
 田車とさうりくあうあうの
 菜とあうす野道つやうあ
 うあうまやあけて是出すも
 麦畑の乾さるる梅のた
 名月アうしりて水のそ
 梅さくア名あうあうの
 さくれや登きくして連子さ
 を持つかうしりく細の
 用アお年ぬくつと松とお
 小火油子あうあう初を
 尺とくやアおのむのまの
 梅さくア岩崎女島の細仕ゆ

梅
 松
 青鏡
 田車
 野道
 麦畑
 名月
 梅
 連子
 細
 松
 小火油
 尺
 梅
 岩崎女島

夜ゆきあこれのあう
 簡のたア梅子てあうあ
 月の照源梅の虫とまう
 風ア草の子のやう人よあ
 暴風しつゆまあうあ車
 海棠ア服あう破のそり
 全七印

梅
 松
 虫
 人
 車
 破
 海棠
 服

晴宵舍柿紅評

秀逸六印

うらまを人か古々あう
 類枝を破よ案や夏の月
 あまのゆいさうあ
 響考の志ハアあうあ
 徒りも整ハ花をうあう
 枝風の山吹さうあ
 梅さくア名あうあうの
 細さくはあうあうのう

古々
 月
 花
 山吹
 梅
 名
 名

尾花
 波山
 宣水
 柿祥
 窓月

笑、半、笑
 笑、山、改
 梅、波、松
 馬、風、山、泉

涼と哉一くあふり行友の月
梅咲て眼くらう暮野の古い
枝をそそぐ振くや古の空を
頂上ハ風をこぼし和さるる
風華をユ風まきり大ユト
わうとらうとほの上あつたの月
半くさるる葉のりわあつたの月
けちうあまのほほとほほ
恨くさるる月夜のほほとほほ
風アおまのほほとほほ
ぬくあを苦界のほほとほほ
秋の牡丹ゆふをかくくくく
あつたの月のほほとほほ

全七印

雪ア雪のあつた地
涼風や若木葉のほほの月
木兔の夢のほほとほほ
月の照るほほとほほ
梅さくや床のほほとほほ
らくさるるほほとほほ

全八印

鬼百合の女松ハ蓮のほほ

彦秀
里游
依山
一丸
對山子
對山子
流中
了家
了家
了泉
了泉

了中
了泉
了泉
了泉

蠅さけり苗香くさく風薫

盆の月あつた手綱のほほ
秋の牡丹ゆふをかくくく
あつた日ハ月をまきりほほ

富て露ら各まきり白牡丹
入相や霧まきり人の秋あつた

更けや機まきり月夜の友

軸

着く舟の中へ持つて蜀魂

花静曙る侍のあつた

梅
了
我

校合
了
中

六
牛
改

梅
馬
泉

借
相
志
立

半
面
山

副判
晴
柿
紅

判者
素
曾
云

臨泉亭
山
松

臨泉亭評

天^{⑤④⑤}馬泉

地^{⑤④⑤}

龜壽

人

笑風

外 笑交

采之一丸

了我

馬泉

素雲堂評

天^{⑤④⑤}

梅知

地^{⑤④⑤}

馬泉

人

牛政

外 波靜

柿祥

葉雪

對城子

空稻

晴宵舍柿紅評

天^{⑤④⑤}

雨中

地^{⑤④⑤}

馬泉

人

依游

外 馬泉

牛政

葉雪

柿祥

松美

半面

網彦

龜壽

馬泉

素友子

天保十五年甲辰春正月開卷